

大阪地裁 「規制委の判断過程には過誤・欠落」 『大飯原発設置許可取り消し』の画期的判決！

柏崎刈羽原発「審査合格」も疑問 規制委は再審査すべきです



審査すべき審査をしないまま許可した規制委

安全性に重大な疑い

関西電力大飯原発3、4号機をめぐり基準値振動(想定される地震の揺れ)が過小評価されているとして、福井県など11府県の住民127人が国の設置許可取り消しを求めた訴訟。大阪地裁は12月4日、設置を許可した規制委の判断について「地震規模の想定で必要な検討をせず、看過しがたい過誤、欠落があるというべきだ」とし「設置許可を取り消す」との画期的な判決を下しました。

2011年の福島原発事故後「運転認めず」の司法判断は6件目ですが設置許可取り消しは初めてです。11月5日のつどいで講師の蓮池透さんは『世界で一番厳しい基準』は大嘘である」と指摘しましたが、自ら決めた「審査ガイド」すら守らずに再稼働にゴーサインを出すことは認められません。

再稼働の根拠大きく揺らぐ

原発再稼働はストップを！

規制委は大飯判決を受け、争点となった

「ガイド」の表現が誤

解を生んだので修正するとし、審査には何ら過誤も欠落もなかったと反論。国と電力会社は判決を真摯に受け止め再審査し、再稼働をストップするよう求めます。

原発事故から9年10か月
福島を忘れない！
柏崎刈羽原発再稼働NO！
「アオーレ前街頭宣伝行動」
にあなたもご参加を
*1月11日(月・祝)
12:00~12:30



花角知事は検証委員会の検証結果と県民の意向を十分に汲みつくして判断をするよう求めます

★「温室効果ガス2050年ゼロ」表明を機に自民党内に広がる原発再稼働・新增設必要論は論外
福島原発事故を通して、原発は人間の手に負えない危険なものであることが様々な面で実証されたにもかかわらず、政府・自民党は「脱炭素のためにクリーンな原発が必要」と改めて安全神話を振りまき原発に固執しています。

★知事は県の検証委員会の徹底した検証を保障すること、県民の意見や思いを知る機会を最大限設けること

★「県民からの意見募集や県民と意見交換の場が必要」と検証委員会
福島事故の検証を踏まえ柏崎刈羽原発の安全性を議論する県技術委員会では「論点について県民の意見募集を」と提案。また総括委員長は県民と意見交換するタウンミーティング開催の必要性を強調しています。

今後検証結果が出た段階で県民とどう共有するのか、県民の意思をどう確認するのか、県民に寄り添った対応を求めます。

ニュース配布のご協力
ありがとうございました。
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
月に1回、会員みなさんにニュースをお届けしていますが、約1割の郵送分以外は、39人の会員みなさんが手配りでお届けしています。

ご連絡お待ちしております
11月5日にハイブ長岡で行われた「市民のつどい」の会場で「距離シール申し込み用紙」に200円を包んで提出された方。お名前とご住所を事務局までお知らせください。